

事業シート（概要説明書）

予算事業名	農業大学校運営事業費	事業開始年度	昭和61年度
上位施策事業名	農業の持続的な発展を支える農業構造の確立	担当部局	農水商工部
根拠法令	農業改良助長法第7条第1項第5号 協同農業普及事業交付金交付要綱 三重県農業大学校条例	担当室	農業経営室 (農業大学校)
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	担い手育成グループ

事業概要	事業の必要性・実施の背景	県民がゆとりと豊かさを実感できる生活を営むためには、三重県の農業が持続可能な農業構造を確立し、安全・安心な農産物を安定的に供給するとともに、多面的機能を十分に発揮することが必要である。しかしながら、農産物の価格の低迷による農業所得の減少や農業経営者の高齢化等により、農業従事者は近年急速に減少している。農業の持続的な発展を図るうえで、意欲と経営感覚を持った優れた農業経営者の育成は、従前にも増してその必要性が高まっており、その中で農業大学校は、中核的な役割を担うことができる農業経営者を養成する教育・研修機関として重要な役割を担っている。																			
	目的 (何をどうするために)	三重県の食と農を担う優れた農業経営者を育成する																			
	目標 (何がどうなれば達成か)	三重県農業の将来の中核的な担い手となることが期待される新規就農者の相当部分が農業大学校から継続的に輩出されている姿をめざす。																			
	対象 (誰・何を対象に)	新たに農業への就業をめざす者(養成科) 基礎的知識や技術力向上をめざす者(研修科)																			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金(直接・間接) (補助先: 三重県農業大学校学生自治会 実施主体: 三重県農業大学校学生自治会) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )																			
	事業内容 (手段、手法など)	1. 養成科 定員40名 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>2年課程</td> <td>30名</td> <td>主に高等学校を卒業した者を対象</td> </tr> <tr> <td>1年課程</td> <td>10名</td> <td>主に社会人を対象</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>専攻コース</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田作</td> <td rowspan="6">                             ・ 広い視野を持った農業経営者を育成するための一般教養科目の講義(2年課程)                              ・ 高度な農業技術及び経営についての講義及び実習                              ・ 県内の先進的な農業経営者への留学実習                              ・ 自ら課題を設定し研究させるプロジェクト学習等                         </td> </tr> <tr> <td>茶業</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> </tr> <tr> <td>花き</td> </tr> <tr> <td>果樹</td> </tr> <tr> <td>畜産</td> </tr> </tbody> </table> 2. 研修科 農業短期研修 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>農業基礎研修</td> <td>新規就農者、就農予定者の技術取得のための研修(水田作、野菜、花き、かんきつ、茶業の5講座。それぞれ年間6~15回開催、定員合計60名)</td> </tr> <tr> <td>リカレント研修</td> <td>農業経営者、新規就農者の知識習得のための研修複数の技術課題に応じ、それぞれ年数日開催。(三重の安全・安心農業技術習得研修、農業機械研修等。定員合計30名程度)</td> </tr> </table>	2年課程	30名	主に高等学校を卒業した者を対象	1年課程	10名	主に社会人を対象	専攻コース	主な内容	水田作	・ 広い視野を持った農業経営者を育成するための一般教養科目の講義(2年課程) ・ 高度な農業技術及び経営についての講義及び実習 ・ 県内の先進的な農業経営者への留学実習 ・ 自ら課題を設定し研究させるプロジェクト学習等	茶業	野菜	花き	果樹	畜産	農業基礎研修	新規就農者、就農予定者の技術取得のための研修(水田作、野菜、花き、かんきつ、茶業の5講座。それぞれ年間6~15回開催、定員合計60名)	リカレント研修	農業経営者、新規就農者の知識習得のための研修複数の技術課題に応じ、それぞれ年数日開催。(三重の安全・安心農業技術習得研修、農業機械研修等。定員合計30名程度)
	2年課程	30名	主に高等学校を卒業した者を対象																		
1年課程	10名	主に社会人を対象																			
専攻コース	主な内容																				
水田作	・ 広い視野を持った農業経営者を育成するための一般教養科目の講義(2年課程) ・ 高度な農業技術及び経営についての講義及び実習 ・ 県内の先進的な農業経営者への留学実習 ・ 自ら課題を設定し研究させるプロジェクト学習等																				
茶業																					
野菜																					
花き																					
果樹																					
畜産																					
農業基礎研修	新規就農者、就農予定者の技術取得のための研修(水田作、野菜、花き、かんきつ、茶業の5講座。それぞれ年間6~15回開催、定員合計60名)																				
リカレント研修	農業経営者、新規就農者の知識習得のための研修複数の技術課題に応じ、それぞれ年数日開催。(三重の安全・安心農業技術習得研修、農業機械研修等。定員合計30名程度)																				
※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載																					
関連事業 (同一目的事業等)	なし																				

事業シート（概要説明書）

予算事業名		農業大学校運営事業費				事業開始年度		昭和61年度					
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）					
コスト	報酬	8,064千円		7,333千円		7,196千円		6,866千円					
	賞金	5,547千円		5,152千円		5,117千円		5,113千円					
	委託料	4,644千円		4,072千円		4,428千円		4,319千円					
	需用費	16,281千円		19,448千円		18,513千円		19,553千円					
	その他	16,240千円		15,346千円		18,929千円		13,732千円					
	事業費合計	50,776千円		51,351千円		54,183千円		49,583千円					
人件費	担当正職員	15人	135,120千円	15人	142,740千円	15人	142,050千円	15人	140,145千円				
	臨時職員等（再計上）	7人	14,819千円	7人	14,658千円	7人	14,623千円	7人	14,469千円				
	人件費合計	15人	149,939千円	15人	157,398千円	15人	156,673千円	15人	154,614千円				
総事業費 ※1		185,896千円		194,091千円		196,233千円		189,728千円					
財源内訳	国庫支出金	13,739千円		13,739千円		14,412千円		13,152千円					
	その他特財	18,248千円		21,153千円		20,539千円		19,016千円					
	一般財源	18,789千円		16,459千円		19,232千円		17,415千円					
	財源合計	50,776千円		51,351千円		54,183千円		49,583千円					
事業実績	【活動指標名】				単位	H22年度	H21年度	H20年度					
	学生数 ※2				人	70	64	60					
	研修受講者数 ※3				人	88	114	48					
効率指標 （事業費/活動指標）		総事業費 / （学生数+研修受講者数）					1,228	1,102	1,757				
事業成果	【成果指標名】				単位	H22年度	H21年度	H20年度					
	就農者数 ※4				人	20	15	13					
	就農率 ※5				%	62.5	45.5	44.8					
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）		<p>農業大学校は、前身の農業経営大学校から現在に至るまでの間、約1,000名の卒業生を輩出し、現在、その多くが三重県農業の中核を担う農業経営者や農業・農村のリーダーとして活躍しており、三重県農業の振興・発展に大きな役割を果たしている。</p> <p>三重県では、兼業農家主体の農業から、意欲ある中核的な農業経営者が担い手の中心となる農業の実現が求められている。農業大学校は担い手の教育・研修機関として、卒業生の就農率の向上に向けて、時代のニーズに合わせた見直しを行ってきており、就農率は全国平均より高くなっている（H22三重県農業大学校就農率 62.5%、全国平均36.0%）。</p> <p>近年は非農家の就農希望が増加しており、このニーズに応えるとともに、卒業後のフォロー等も含めた支援体制をより充実させる必要があり、今後、学識者・関係機関等であり方検討会を開催し、必要な見直しを行っていく。</p>											
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	卒業後の就農率 (単位：人、%)												
		H22			H21			H20			H19		
		卒業生	就農者	就農率	卒業生	就農者	就農率	卒業生	就農者	就農率	卒業生	就農者	就農率
	三重県	32	20	62.5	33	15	45.5	29	13	44.8	43	18	41.9
	愛知県	62	18	29.0	75	17	22.7	58	10	17.2	73	13	17.8
	岐阜県	22	11	50.0	26	9	34.6	19	4	21.1	17	8	47.1
	東海地方(3校計)	116	49	42.2	134	41	30.6	106	27	25.5	133	39	29.3
	全国(47校計)	1,913	689	36.0	1,737	654	37.7	1,717	588	34.2	1,896	653	34.4
	入学者の充足率 (単位：人、%)												
		H22			H21			H20			H19		
		定員	入学者	充足率	定員	入学者	充足率	定員	入学者	充足率	定員	入学者	充足率
	三重県	40	44	110.0	40	35	87.5	40	33	82.5	40	40	100.0
	愛知県	100	94	94.0	100	64	64.0	100	81	81.0	100	60	60.0
	岐阜県	30	32	106.7	30	25	83.3	30	28	93.3	30	21	70.0
	東海地方(3校計)	170	170	100.0	170	124	72.9	170	142	83.5	170	121	71.2
	全国(47校計)	2,665	2,395	89.9	2,701	2,019	74.8	2,705	1,852	68.5	2,695	1,813	67.3
特記事項 （事業の沿革等）		農業大学校の沿革は、別添「三重県農業大学校（MIE AGRICULTURAL COLLEGE）パンフレット」沿革のとおり											

※1：臨時職員等人件費は事業費に含まれており二重計上となるため、総事業費から控除している。  
 ※2：養成科の年度当初における学生数（2年課程 1年生、2年生、1年課程 1年生）  
 ※3：農業短期研修の受講者数  
 ※4：卒業生のうち農業へ就業・就職した人数  
 ※5：卒業生に占める就農者数の割合（就農者数/卒業生数）